

第3節 旧計画の減量化・資源化目標の達成状況

家庭系ごみ^{※1}の1人1日平均排出量（以下「排出量原単位^{※2}」という。）は、2016年度に2011年度比で約1.4%増加しており、現計画の中間目標を達成することは難しい状況である。これは、2013年度からの紙類の回収を徹底したため、紙類の排出量が増加したことが大きな原因である。

事業系ごみ^{※3}の排出量原単位は、2016年度に2011年度比で約6.2%増加しており、景気のゆるやかな回復もあるものの、現計画の中間目標を達成することは大変難しい状況である。

焼却処理量については、2016年度に2011年度比で約0.8%削減しているものの、現計画の中間目標を達成することは難しい状況である。

資源化率については、2016年度に30.1%となっており、現計画の中間目標に向けて順調に増加している。

表1-1 旧計画の減量化・資源化目標の達成状況

区分	年度	2011年基準年度 実績	2016年実績	2017年 現計画 中間目標	2022年 現計画 目標
家庭系ごみ 排出量原単位		571.8 g/人・日	580.0 g/人・日 1.4 % 増加	555.5 g/人・日 3 % 削減	541.8 g/人・日 5 % 削減
事業系ごみ 排出量原単位		267.6 g/人・日	284.2 g/人・日 6.2 % 増加	253.1 g/人・日 5 % 削減	240.9 g/人・日 10 % 削減
資源化率		29.6 %	30.1 % 0.5 ポイント 増加	31.2 % 1.6 ポイント 増加	32.9 % 3.3 ポイント 増加
焼却処理量		55,042 t	54,619 t 0.8 % 削減	52,354 t 5 % 削減	49,318 t 10 % 削減

※1 家庭系ごみ：市が定期収集するごみ、持ち込みごみ及び集団回収により回収された資源ごみの総量

※2 排出量原単位

＝年間のごみ排出総量（トン）÷行政区域内人口÷365日×1,000,000（g/人・日）

※3 事業系ごみ：事業者が直接自らあるいは許可業者に依頼して処理施設等に搬入したごみの総量